



関町小通信

平成30年5月1日
練馬区立関町小学校
学校だより

5月号

いってらっしゃい おかえりなさい (本校の特別支援教育)

校長 加園 正子

風薫る5月。校庭の木々もみずみずしい若葉を広げています。ハナミズキや藤の花も爽やかな風に揺れています。関町地区の自然豊かな恵まれた環境のありがたさを改めて感じます。

先日、低学年の昇降口で子供達を迎えていると、「おはようございます」と、元気で明るい挨拶が返ってきました。楽しそうに登校する子供達の姿を見ると、私たち大人もパワーが湧いてきます。さあ、今日も一日頑張ろうという気持ちが高まります。子供達の元気な姿は、周りの大人にパワーを与える魔法の力をもっています。

さて、今年度から「かたくりルーム」が、特別支援教室拠点校として新たな形でスタートしました。本校では、週に2日間(月・水)を通室して指導を行っています。他の3日間は、石神井西小学校、立野小学校、上石神井小学校に1日ずつ巡回指導に行きます。本校は、特別支援教室拠点校ですので、かたくりルームの担当教員と児童とが、日常的に交流できることが魅力です。

さらに今年度は、石神井西地区悲願の「ことばの教室」が本校に暫定的に開設いたしました。ことばの教室では、本校の子供達と石神井西地区の小学生が保護者の方と一緒に通ってきます。教室では、ことばに関する心配の軽減・改善を図る指導を教員1名に対して子供1名の個別指導を中心に行いますが、必要に応じてグループ指導を行うこともあります。本校は校内にことばの教室がありますので、保護者の付き添いなしで通えることと、日常的に担当教員と交流できることが最大の魅力です。

このように、本校では特別支援教育を充実させ、児童一人一人が安心して過ごせる居場所を大切にしながら、児童の特性に応じた指導を受けられる環境作りを行っています。担任教員は、通級指導学級等に児童を送り出す時には「いってらっしゃい」と声をかけ、戻るときには「お帰りなさい」と言って迎えます。児童一人一人の良さを発揮できるように、教職員がチームで支援し、指導してまいります。ご心配がある場合は、担任や特別支援コーディネーター(凶工の高橋由美子主任教諭)、谷奥スクールカウンセラー、田中副校長までご相談ください。

◆◆本校の特別支援教育をQ&Aでご紹介します◆◆ 「かたくりルーム」と「ことばの教室」

Q、かたくりに通い、よかったことは何ですか？

子供達は自分のクラスの他にも安心して過ごせる場所が増え、情緒の安定が進んでいます。かたくりルームの教員と担任との情報交換も密になり、在籍学級での支援も充実しています。

Q、かたくりルームでは、どんな指導をしているのですか？

「個別指導」と「小集団指導」の2つの指導形態で指導を展開しています。

「個別指導」では、お子さんの課題に合わせた学習内容を、教員1名対子供1～2名で取り組みます。「小集団指導」では友達とのかかわり方や集団性を高めることに関わる内容、運動や動作に関わる内容に、教員1名対子供3～4名で構成してグループで学習を行います。

Q、どんな心配があると、ことばの教室に相談するのがよいのでしょうか？

ことばが、なめらかにに出にくい。ことばがうまく人前で話すことが苦手。読み書きの間違が多い。発音がはっきりしない場合などです。

Q、指導するのは誰ですか？

本校に専門に担当している教員と特別支援教室専門員が指導にあたっています。ご相談も随時お受けしています。

[かたくりルーム]

主幹教諭 齋田 昭枝(学級主任)

特別支援教室専門員 横澤 雅代

教諭 坂口 宣昭・春谷 花

[ことばの教室]

主任教諭 田中 千鶴子(学級主任)

主任教諭 久保 淳太郎

講師 檜 公子・三枝 万里子